

# 機械学習を用いた早期胃がんのリンパ節転移予測モデルの作成に関する研究

## 1. 研究の対象

2010年1月～2021年12月に大阪大学医学部附属病院及び下記の研究協力病院で早期胃がんに対して外科手術もしくは内視鏡治療を受けられた方。

## 2. 研究目的・方法

早期胃がんに対する内視鏡治療では、治療後の最終病理診断で根治基準を満たさず、非治癒切除と判定されることがあります。その場合、胃壁外のリンパ節にがんが転移をきたしている可能性があるため、追加でリンパ節郭清を伴う胃切除（外科手術）を行うことが推奨されています。しかし、非治癒切除と判定された際の実際のリンパ節転移率は10%未満であり、残りの90%の患者さんは結果的に必要性の低い外科手術を受けていることとなります。このことから、内視鏡治療で非治癒切除と判定された患者さんの中から、より選択的に追加手術の恩恵を受ける患者さんを抽出するため、精度の高いリンパ節転移予測モデルを構築することが必要です。そこで、外科手術や内視鏡治療を受けた多数の早期胃がん患者さんのデータを複数の病院から収集し、近年注目されているAI（人工知能）の一種である機械学習の手法を用いてリンパ節転移の予測モデルを構築することとしました。本研究の研究期間は大阪大学医学部附属病院の病院長の許可が出てから2025年3月31日までの予定です。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

収集する情報は、患者さんの年齢や性別、治療した胃がんの最終病理診断、リンパ節転移の有無や治療後再発の有無などです。プライバシー確保のため、上記事項は患者さんが特定できないように処理した上で研究を行います。

## 4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

## 5. 研究組織

市立豊中病院	消化器内科	西田勉
大阪労災病院	消化器内科	山田拓哉
関西労災病院	消化器内科	萩原秀紀
市立伊丹病院	消化器内科	筒井秀作
箕面市立病院	消化器内科	中原征則
大阪警察病院	消化器内科	飯島英樹

当院の連絡先

研究担当医師：長生 幸司

所属：地方独立行政法人 市立吹田市民病院 消化器内科

住所：〒564-8567 大阪府吹田市岸部新町 5-7

電話番号：06-6387-3311（代表）